

発行：福岡地区労働組合総連合
〒812-0016
福岡市博多区博多駅南1-9-8
ケイ・アイビル2F
TEL 092-433-3338
FAX 092-433-3535
Mail : fukuciku@gmail.com



(HPはこちら)

2025
1月号

福岡地区労連

新春職場訪問

患者さんを大事にする医療職場の実現を



千鳥橋病院 東館入口

診療報酬の改善と 医療現場の人員不足解消を

2025年新年号の職場訪問は、福岡医療団労組に行ってきました。対応してくれましたのは書記長をされている松尾沙緒理さんと副執行委員長をされている品川泰弘さんです。今回の職場訪問では、医療団労組が現在取り組まれている賃金引き上げや人員不足を解消する大幅増員署名などの取り組みについて、お話を聞かせていただきました。

「25春闘で取り組まれている課題を教えてください。」

松尾 年末一時金は闘ったことでかなり守る

ことができました。日本病院会などがおこなう調査では6割の病院の経営が赤字ということがわかっていま

す。4役会議でも、赤字の病院が多くなつて、クリニックが閉まったり、介護事業所が倒産するケースも多くな

り、医療現場の経営が守れなくなっていることが出されました。

千鳥橋病院の職員も、年末一時金を全額出して大丈夫夫なのという声もあるほど、苦しい経営状態になっています。根本的な問題は、診療報酬の改善です。

職員の賃金と生活を守るためにも、診療報酬の抜本的な見直しが必要

要です。

「医療現場での今年の課題について教えてください。」

松尾 看護師の働き方は厳しくなっていますので、看護職員の大幅増員の要求があります。例えば千鳥橋病院は、24年の診療報酬改定のタイミングで看護師の配置基準が変わらざるを得なかったため、同じ病床数をこれまでより少ない人数でなければならなくなりました。

今の若い人たちは、医療関係よりも美容関係の職場を選ぶ傾向にあります。それは美容関係の方は自由診療ということもあって、医療関係よりも夜勤はなくて賃金が高く、休みもあるものでそっちにいくようです。

品川 コロナ禍を経て超高齢社会にも突入していることから、現場では患者の重症度（医療ケアがより必要）や介護度（介護の必要性）が上がっている傾向にあります。多くの患者に心のこもったケアを提供したいのですが仕事量が多く、対応できない状況になっていま



福岡医療団労組の品川副執行委員長(左)と松尾書記長(右)

す。そういった労働環境であることから退職される方もいるのですが、募集をかけてもなかなか補充に至らず、医療提供体制を保つために、派遣を導入せざるを得ない状況もあります。

「12月にマイナ保険証が廃止されましたが、窓口では混乱はありましたか。」

松尾 マイナ保険証になって、やはり窓口では対応に困ることはあるようです。ただ、千鳥橋病院併設の千代診療所ではまだ2割程度の利用率のようで大きなトラブルにはつながっていないようです。医療団労組はマイナ

「福岡地区労連に期待していることなどありましたら聞かせてください。」

松尾 賃金引き上げや一時金のストライキを実施したときに、地区労連に加盟されている仲間のみなさんが駆けつけてくれて、すごくありがたかったです。今年は医療団労組で大幅増員の署名に取り組むので、地区労連に加盟している職場に伺いますので、ご協力よろしく願います。

松尾 賃金引き上げや一時金のストライキを実施したときに、地区労連に加盟されている仲間のみなさんが駆けつけてくれて、すごくありがたかったです。今年は医療団労組で大幅増員の署名に取り組むので、地区労連に加盟している職場に伺いますので、ご協力よろしく願います。

《25春闘は物価高騰を上回る賃上げを》 【新春宣伝行動】



博多駅紫口に集まって新春宣伝行動

福岡県春闘共闘は、昨年末からの物価高により、2025年は労働組合がこれまで以上のたたかいが求められるなか、1月8日に新春宣伝行動を博多駅紫口で行いました。三苦議長は新春の第一声で、「物価の高騰で労働者は窮地に追い込まれている、25春闘で物価を上回る大幅な賃上げが必要だ。

いま労働組合に入っていない働くみなさんも労働組合に結集していただきたい。賃金を引き上げることができるとは労働組合しかありません。」と訴えました。宣伝物はポケットティッシュに働く人の「権利手帳」をセットにして配りました。受け取りは良く、準備した約500個を30分間で配布することができました。新春宣伝行動の参加者は20人でした。

(編集委員 内田)

〈2025年福岡地区春闘共闘会議定期総会・旗開き〉 25春闘に勝利しよう！



辻永さんの団結ガンバローで一致団結

福岡地区春闘共闘は、1月18日にリファレンス駅東にて2025年度定期総会と旗開きを開催しました。

前半は定期総会が行われ、内田事務局長より大幅賃上げ、公務員共・社会保障の充実、憲法が生かされる平和な社会の3つの要求の案が行われ、今年度の方針が確認されました。議長は、米地議長が引き続き務められます。後半は、旗開きが行われ、加盟組合や単組、

議会議員が参加されました。旗開きのビンゴゲームでは、今年も福建労のティッシュが人気景品であり、お酒などの豪華景品よりもティッシュをもっている方が多くいらっしゃいました。景品を獲得した際は、参加者の一言あいさつで会場はなんども沸きました。

旗開きの最後は、市職労の辻永さんの団結ガンバローで締めくくられました。

(編集委員 松尾)

2025年春闘大幅賃上げと 1700円以上最低賃金実現を！

中小経営者との 共同で春闘勝利

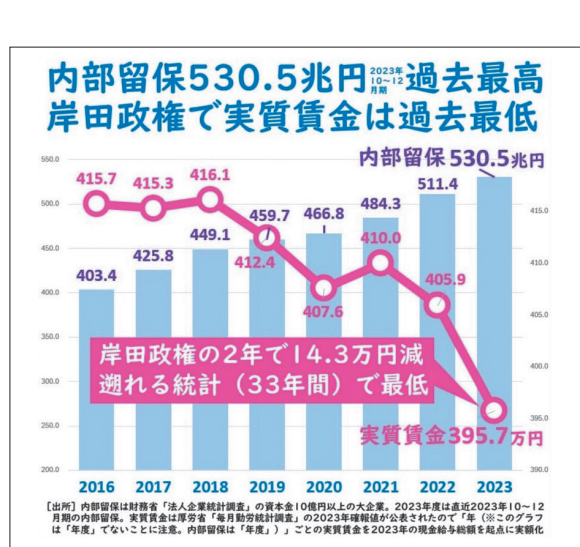
若い人ただけでなく、賃金が抑制された中堅以上の労働者も収入が低く生活に困っている実態をみることが出来ます。それは昨年の衆議院選挙で、国民民主党が「税と保険料の負担をできるだけ抑え、手取りを増やす」政策を出したことで、20代30代の若い世代から支持を得て議席を7議席から28議席と4倍に増やし、一方で自民党・公明党の与党が過半数を維持できなかったことからです。また

人手不足の中で賃金をあげたくても上げるこゝろがない中小企業も、厳しい経営状況におかれています。労働者、経営者ともに苦しい状況の中で、資本金10億円以上の大企業は539兆円と過去最高を更新し続け、上場企業の役員にいたっては数十億円という役員報酬をもらっていることから、一部の大企業・富裕層だけが潤い、多くの国民・労働者は生活に困っているという構図が浮かび上がります。

労働者・国民の生活が苦しいのは、実質賃金が物価上昇に追い付かないことです。22年4月から昨年のボーナスを除いた以外は、連続して実質賃金がマイナスに沈み続けていま

取られすぎている税を取り戻そう

税を取り戻そう



す。それだけではなく、「失われた30年」にみられるとおり、アメリカやイギリスなどは2倍近く賃金が上がっているのに、世界で日本だけが過去30年間賃金が横ばいしか下が

ている悲惨な記録が続いています。(図参照)コロナ後の4年間税収が連続で過去最高を更新しています。これまでも取られ過ぎた税金を労働者国民に返させる「可処分所得」を増や

すとりくみが必要で、同時に総額43兆円という軍事費の増大をやめさせ、来年度予算で8兆円の軍事費を教育費や社会保障に回す取り組みが重要です。

昨年の24年春闘では約27年ぶりに1万円を超える賃金を引き上げることができました。労働者の収入を増やすことができる労働組合が、ストライキを背景に闘った結果つくりあげた前進です。25年春闘は、労働者の賃金を大幅に引き上げることと、最低賃金を1700円以上にすることをめざし奮闘しましょう。

(編集委員 恵藤)

- 今後のスケジュール
- 第82回福岡県労連評議員会
2月9日(日) 13:00～17:00
九州ビル
 - 公共再生のシンポジウム
2月9日(日) 10:00～12:00
九州ビル
 - 25春闘総決起集会(予定)
2月14日(金) 18:30～
警固公園で調整中
 - 市民の会・市民学習会(平和問題)
2月15日(土) 14:00～
天神チクモクビル